

(様式5 実施結果の公表)

桜川市公共施設個別施設計画（案）
のパブリックコメントの実施結果

桜川市 総務部 財政課

■意見集計結果

令和3年2月10日から3月11日までの間、桜川市公共施設個別施設（案）について、意見募集を行なった結果、2人から9件の意見の提出がありました。

これらの意見について、適宜要約した上、項目ごとに整理し、それに対する市の考えをまとめましたので公表します。

提出方法の人数は、以下のとおりです。

提出方法	人 数
直接持参	人
郵 便	1人
電子メール	1人
ファクシミリ	人
その他	人
合 計	2人

■意見の概要及び意見に対する市の考え方

No	提出された意見の概要	意見数	意見に対する市の考え方
1	財政シミュレーション（30年間）項目を入れ、人口予測値（2040年）を一般的に妥当とされる2.7万人辺りに訂正し、再検討して頂きたい。	1件	本計画において2040年の人口を3.5万人と推計しているのは、上位計画である桜川市公共施設総合管理計画から引用しているためです。 今後、管理計画の見直しに伴い、桜川市第2次総合計画との整合性を図りながら、本計画の人口の推計についても適宜見直しを行ってまいります。
2	令和12年までに予算の半分以上予算を使ってしまい、後半の20年間、施設の更新・創出の制約を受けた中での本計画の理解は、難しいです。 再検討して頂きたい。	1件	本計画では、建物の健全性や、施設の利活用状況などの公的必要性を分析して、集約化や長寿命化・建替えから建物の整備方針を検討し、将来にかかるコストを削減しています。また、維持管理コストと改修を含めた建替えのタイミングについて、どの時期が最も効率的なのか検討してまいりました。その結果、現在の施設を耐用年数ですべて建て替えた場合は、年平均で21.3億かかる試算ですが7億円に減額しています。 ご質問の本計画の支出が令和12年までに集中しているのは、適用期限のある合併特例債を効率的に運用し、将来の費用負担を軽減するためです。

3	<p>現市庁舎、学校等の大規模施設は、災害対策と将来の屋内空間需要に備え多目的スペースとして確保する必要があります。再検討して頂きたい。</p>	1 件	<p>現在の庁舎は、本計画でも述べさせておりますが、老朽化による劣化が著しく、耐震性を満たしていない施設もあり、現状では災害時の拠点としての役割を十分に果たすことはできないため建替えを行います。</p> <p>また、学校の校舎については、「第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画」に基づき、桜川市教育委員会において慎重に検討された結果、将来未使用となる施設については、「桜川市公共施設跡地等利用基本方針」に沿って計画を推進します。また、学校の体育館については、避難所として指定しているため、取り壊しの予定はありません。</p> <p>また、将来校舎の利用が難しい場合、継続的な維持管理経費を抑えるため、予め解体費を見込んでいます。</p>
4	<p>近隣市の公共施設の利用等で新施設の増設を抑制できないか。図書館を例に挙げれば、隣接市に立派なものがあるので、そこを利用する。市でも電子図書館や移動図書館などのサービスを充実するなどです。</p>	1 件	<p>本計画では、建物の健全性を評価した「一次診断」及び、利用者やコストといった施設の活用状況に加え、人口動態や立地状況、公的必要性などの要因を加味した「二次診断」により整備方針を検討しています。</p> <p>(生涯学習課)</p> <p>例に挙げていただいた図書館ですが、桜川市は全国で8市しかない「図書館の無い市」の一つであり、適正な規模の図書館整備は魅力あるまちづくりの観点から必要と考えています。</p> <p>大規模館でないと揃えられないような蔵書・サービスは他館と連携することで補いつつ、新図書館は桜川市民の日常利用に即した機能や先進的な機能に絞って整備することで、桜川市の教育環境の充実に努めてまいります。</p>
5	<p>小学校の統廃合はさらに時間をかけて検討をお願いします。</p>	1 件	<p>(学校教育課)</p> <p>ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症対策をきっかけに現在の学級編成が見直されています。今後の児童生徒の減少率のほか社会情勢の変化を考慮するとともに、地域の方々のご意見を十分に尊重して検討してまいります。</p>

6-1	<p>資料では、統廃合への「集約化」へ誘導し、「統廃合は既に決まっている」ととれる箇所①～④がありました。</p> <p>① P. 27 二次評価の項目「㎡あたり利用率」「留意が必要」と前置きしているものの、利用する児童生徒数は決まっているので増えようがない。</p> <p>機械的に処理して一律に評価するのは如何か。</p>	1 件	<p>学校について、「一次評価」及び「二次評価」は基本指標として算出していますが、最終的に「第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画」を基に慎重に試算しています。</p>
6-2	<p>② P. 27 項目「1人あたりのネットコスト」、項目「人口密度」で5項目中の2項目での高評価は印象が強い。学校という歴史的で特別な事情のものへの提示には重み付けなど特別な配慮が必要だ。</p>	1 件	<p>ご意見のとおり、学校は公的必要性に特別な配慮が重要と認識しておりますので、「第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画」を基に試算しています。</p>
6-3	<p>③ P. 29 適用可能な手法の選択では「集約化」が選択され易い。</p>	1 件	<p>公的必要性を評価し、将来の費用負担を抑えるために集約化は必要と考えています。学校については、本回答 No2 や No3 のとおりです。</p>
6-4	<p>④「第5章 実施計画」で、P. 84 表中の小学校が、西暦2023, 2025, 2026, 2029年に「取壊」とある。取壊の対象は「集約化」で統廃合となる小学校校舎ととれる。「金額」も掲載されているので、各年いずれの学校のことか。</p>	1 件	<p>本計画では、将来かかる経費を30年分算出していますが、学校については対象校が特定出来ないため、平均値により算出しています。改修工事では、30年間平均のコストを重視していますが、学校を新設する場合は、短期的にコストが増大するため、出生数の予測値から学校規模を算定して費用を算出しています。この場合も、本回答 No.3 と同様に想定として予め見込んでいます。</p>